

発電用設備規格委員会 第44回 材料専門委員会 議事録

1. 日 時： 2019年9月5日(木) 13時30分～16時30分
2. 場 所： 日本機械学会 第1会議室
3. 出席者： 委員総数20名中、出席者19名
木村(NIMS)、安田(原安進)、波木井(東電)、浅山(JAEA)、澤田(NIMS)、野村(IHI)、高橋(東芝 ESS)、齋藤(三菱重工)、山崎(千葉大)、西井(電源開発)、高橋(電中研)、朝田(三菱重工)、金田(日立 GE)、俣野(川崎重工)、森(日本製鉄)、尾崎(JERA)、三木(日本製鋼所)、岡田(日鉄テクノロジー)
委員代理：本多(火原協 高木委員)
アドバイザー：榎木
オブザーバ：東海林(MHPS)、上原(日立金属)
事務局：渡邊
欠席者：山田(中電)
4. 配布資料：
資料 44-1 第43回材料専門委員会 議事録(案)
資料 44-2-1 材料専門委員会委員名簿(案)
資料 44-2-2 材料専門委員会 出席状況等
資料 44-2-3 材料専門委員会 新材料規格化分科会名簿(案)
資料 44-2-4 新材料規格化分科会出欠状況
資料 44-2-5 材料専門委員会 材料規格統合化分科会名簿(案)
資料 44-2-6 材料規格統合化分科会 出欠状況
資料 44-2-7 材料専門委員会 材料事象解説分科会名簿(案)
資料 44-2-8 材料事象解説分科会出欠状況
資料 44-3 第90回 発電用設備規格委員会 議事録(案)
資料 44-4 欠番
資料 44-5 第27回及び第28回 新材料規格化分科会 議事録／議事録(案)
資料 44-6-1 第25回 材料規格統合化分科会 議事録
資料 44-6-2 第26回 材料規格統合化分科会 議事録(案)
資料 44-7 第17回 材料事象解説分科会 議事録(案)
資料 44-8 Alloy263 の材料仕様と許容応力値の策定依頼に対する回答案
資料 44-9 Alloy141 の材料仕様と許容応力値の策定依頼に対する回答案
資料 44-10 「提供データ取扱い要領(内規)」改訂提案
資料 44-11 材料専門委員会 課題対応一覧(トラッキングリスト)

5. 議事内容

(1) 開会

開会時において出席者は委員総数 20 名の内 19 名で定足数を満足しており、本委員会は成立することを確認して、木村委員長が委員会の開会を宣言した。なお、委員の他にアドバイザーが 1 名、オブザーバが 2 名出席した。

(2) 議事次第確認

議事次第（案）と配布資料・資料番号を確認した。

(3) 議事録(案)の確認 【資料 44-1】

第 43 回材料専門委員会の議事録（案）確認を行い、“8-3 発電ボイラー用 SUS 鋼管の許容応力等見直しについて”の項の 2 行目の文章に関し、“……の策定依頼に先立ち、電気事業連合会から情報提供された……”を次の様に修正することとした。“……の策定依頼があり、電気事業連合会から情報提供された……”。さらに、その 2 行下の“材専”を“材料専門委員会”に修正することを条件に、本議事録（案）は承認された。

(4) 委員委嘱関係 【資料 44-2-1～8】

- ・俣野委員と森委員を材料専門委員会再任委員候補として推薦することを承認した。
- ・新材料規格化分科会において、戸田委員の退任が報告された。
- ・材料規格統合化分科会において、吉田委員を再任委員として承認した。また、戸田委員が 12 月 31 日付で退任することが報告された。

(5) 規格委員会等報告 【資料 44-3】

木村委員長より 6 月 19 日に行われた第 90 回 発電用設備規格委員会議事録（案）の材料専門委員会関連部分が報告された。材料専門委員会に関しては、西井委員の再任と岡田委員の新任が承認されたとの報告があった。さらに、(5-7)において「金属キャスク材量」から「金属キャスク材料」への修正、及び、(6-6)において「回答書とともに」との表記から「回答書とともに」への誤記修正提案があった。

(6) 分科会報告

6-1 新材料規格化分科会報告 【資料 44-5】

澤田委員（新材料規格化分科会主査）より、第 27 回並びに第 28 回の新材料規格化分科会報告が行われた。新規材料として、Alloy263 と Alloy141 に関する材料仕様並びに許容値策定に関する検討状況が紹介された。

6-2 材料規格統合化分科会報告 【資料 44-6-1、資料 44-6-2】

安田幹事（材料規格統合化分科会幹事）より、第 25 回及び第 26 回材料規格統合化分科会活動状況について報告が行われた。材料規格「新規材料採用ガイドライン」への反映を目的として、室温引張試験に関する JIS/ASTM/ISO 規格間の比較検討に注力しており、今年度中に「新規材料採用ガイドライン」への反映を目的として室温/高温引張試験方法、クリープ及びクリープ破断試験方法について纏める方向であることが紹介された。

6-3 材料事象解説分科会報告 【資料 44-7】

岡田主査より、第 17 回 材料事象解説分科会活動状況報告が行われ、解説書に関する次回改定目標時期、改定ポイント等に関する審議状況について紹介された。

(7) 審議事項等

7-1 新規材料（Alloy263）の規格化に関する検討状況 【資料 44-8】

澤田委員（新材料規格化分科会主査）より、資料に基づき新規材料である Alloy263 に関する材料仕様、並びに許容値策定に関する検討結果が報告された。固溶化熱処理条件、常温規格値の設定等について審議した。また、材料仕様を策定するためにより具体的なガイドラインの拡充も要望された。この様な審議結果に基づき、ご意見伺いのための書面投票を行うことが提案され、可決された。

7-2 新規材料（Alloy141）の規格化に関する検討状況 【資料 44-9】

澤田委員（新材料規格化分科会主査）より、資料に基づき新規材料である Alloy141 に関する材料仕様、並びに許容値策定に関する検討結果が報告された。固溶化熱処理条件、常温規格値の設定等について審議した。また、材料仕様を策定するためにより具体的なガイドラインの拡充も要望された。この様な審議結果に基づき、ご意見伺いのための書面投票を行うことが提案され、可決された。

7-3 「提供データ取扱い要領（内規）」の改定提案 【資料 44-10】

本件は、発電ボイラー用 SUS 鋼管に関するデータ提供機関から、「提供データ取扱い要領（内規）Rev.1」の別紙 3（データ提供に関する同意書）における（5）項への文言追記が依頼されたため、追記事項を反映するための改定提案である。改定内容は、“～甲は提供データを継続的に使用できる権利を～”に「この目的に限り、」を追記して、“～甲は提供データをこの目的に限り、継続的に使用できる権利を～”に変更するものである。審議の結果、本改定案は、発電用設備規格委員会に提案することが挙手により承認された。さらに、上記別紙 3 の文言に関しては、データ提供機関の意向により今後も追記等の修正が想定されるため、発電用設備規格委員会委員長が認めた軽微な修正に関しては、発電用設備規格委員会の承認を不要とすることを追記することの提案も承認された。

(8) その他

課題対応一覧表 (Tracking List) 【資料 44-11】に基づき、各課題の進捗状況確認を行った。

(9) 次回開催予定

日 時 : 2019 年 12 月 6 日 (金) 13:30~17:00

場 所 : 日本機械学会 第 3・4・5 会議室

以 上